

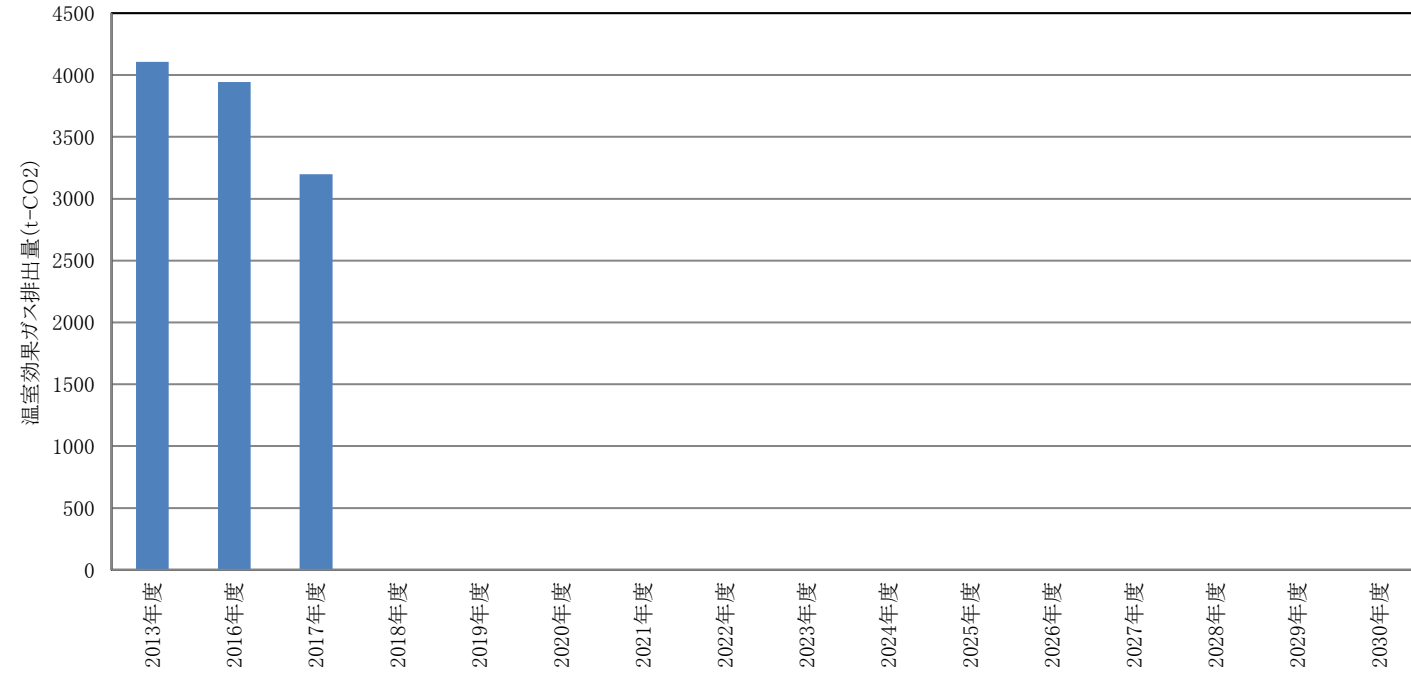
室戸市 地球温暖化対策実行計画の進捗状況

1. 温室効果ガス排出量

(1) 室戸市（事務事業）の温室効果ガス排出量

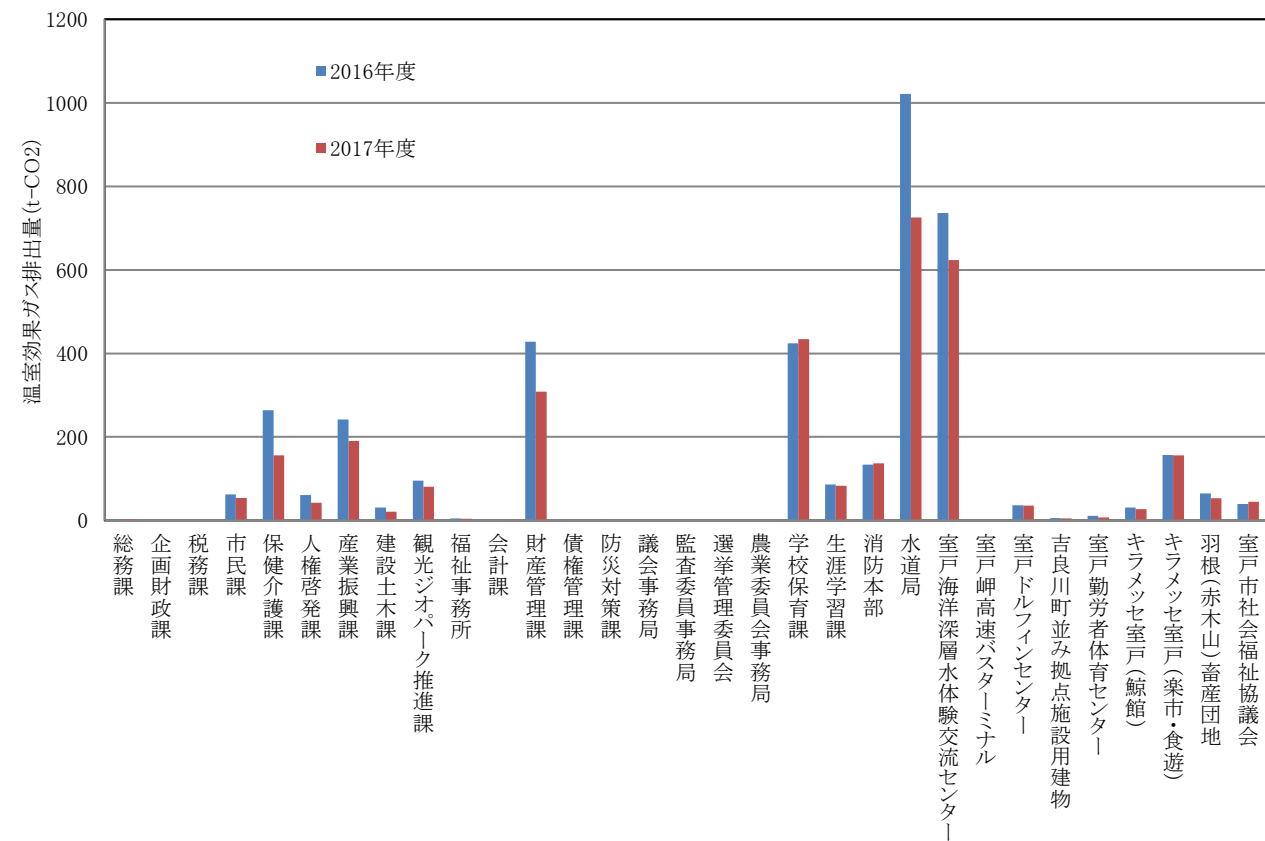
2017年度の室戸市(事務事業)の温室効果ガス排出量は **3,197t-CO₂** でした。

これは2016年度から **-18.9%** (2013年度比 **-22.1%**) で、短期目標(2020年度までに2016年度比-8.7%)を大きく上回る削減率です。



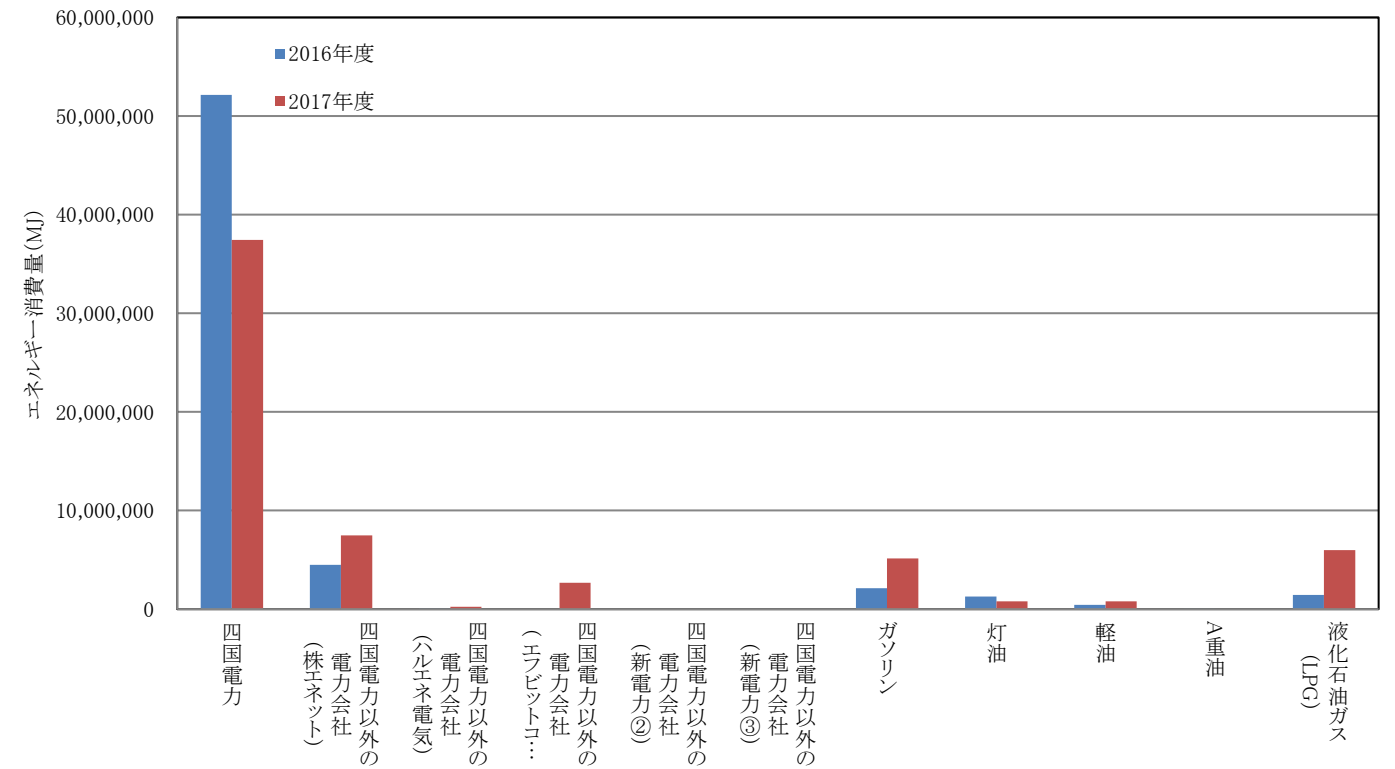
(2) 課・施設別の温室効果ガス排出量

学校保育課、消防本部、室戸市社会福祉協議会で排出量はわずかに増加しましたが、それ以外の施設では排出量は減少しています。



(3) エネルギー消費量

エネット、ガソリン、LPG で消費量は増加していますが、最も消費量の多い四国電力で大幅に消費量が減少しました。エネルギー消費量の合計は2017年度で60,600,185MJ(2016年度:61,989,426MJ)と2016年度から-2.2%となっています。



(4) 温室効果ガス削減状況の考察

エネルギー消費量は2016年度から微減である一方で、温室効果ガス排出量が大幅に減少した要因として電力会社の排出係数の変化が挙げられます。3つの電力会社で排出係数が減少しており、特に最もエネルギー消費量の大きい四国電力の排出係数が大きく減少しているため、室戸市(事務事業)の排出量が大きく減少したと考えられます。

表 電力会社の排出係数

	2016年度	2017年度
四国電力	0.651 kg-CO ₂ /kWh	0.510 kg-CO ₂ /kWh
エネット	0.418 kg-CO ₂ /kWh	0.405 kg-CO ₂ /kWh
ハルエネ電気	0.753 kg-CO ₂ /kWh	0.594 kg-CO ₂ /kWh
エフビットコミュニケーションズ	—	0.574 kg-CO ₂ /kWh

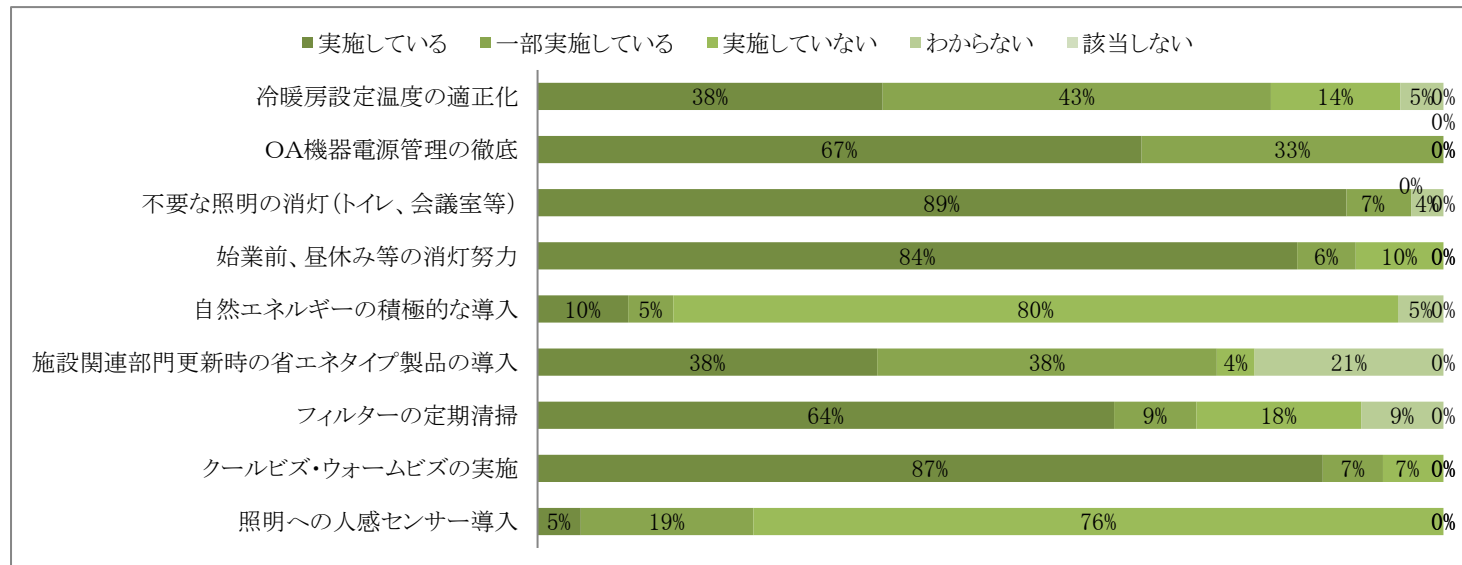
なお、2016年度の排出係数を用いて2017年度の排出量を算定すると、排出量は3,740t-CO₂となり、2016年度比-5.1%となります。

したがって、2017年度の排出量の削減量に甘んじることなく、引き続き省エネ活動を推進し、排出量の削減に努めることが重要となります。

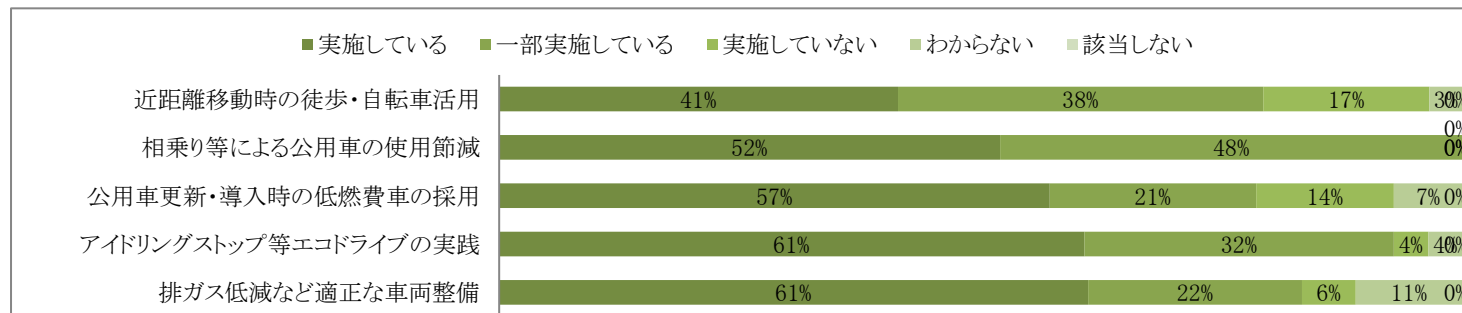
2. 省エネ活動の取組状況

(1) 取組結果

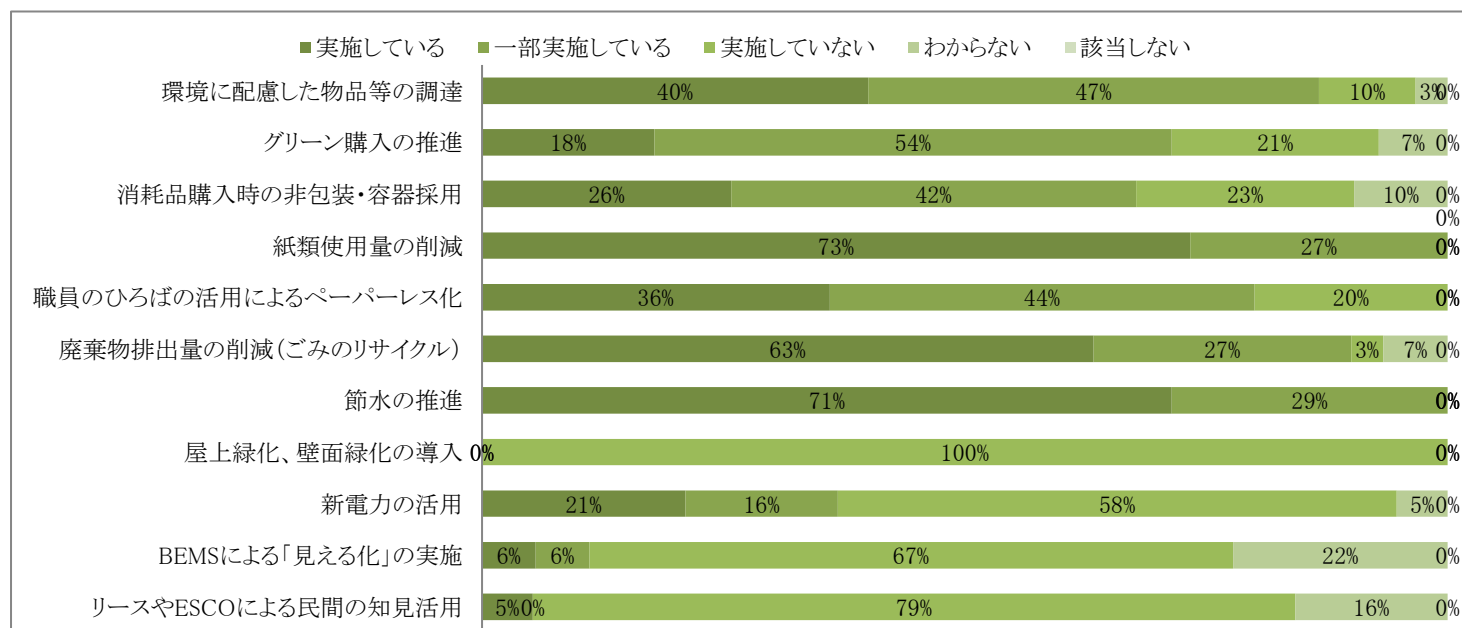
①電気使用量の削減



②燃料使用量の削減



③その他の取組



(2) 取組結果の考察

「自然エネルギーの積極的な導入」や「照明への人感センサー導入」など設備導入に関する項目では実施率は低いですが、それ以外の日々取り組める運用改善については実施率が高い傾向にありました。引き続き、全職員の意識を高め、運用改善施策に励むことが重要です。